

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



ニューヨーク事務所

「ニューヨークタイムズトラベルショー2017」開催

1月27日から29日まで、ニューヨーク市マンハッタン区で全米最大級の旅行博「ニューヨークタイムズトラベルショー2017」が開催されました。毎年2万5千人以上が来場する本イベントでは、観光庁と日本政府観光局（JNTO）が日本ブースを主催し、長崎県観光連盟や東京都のほか、旅行代理店などが出展しました。クリアニューヨーク事務所も出展し、自治体から派遣されている職員が地方の魅力をPRしました。ブースでは日本への旅行を考える来場者から花見やスキーなどの時期や場所、各地への交通手段など具体的な質問があり、日本への関心の高さが伺えました。また、「広島焼き」のデモンストレーションや試食が行われ、その出来上がりを興味深そうに見つめる来場者で人だかりができていました。



北京事務所

北京で日中友好成人式開催、新成人約200人が参加！

1月15日、北京市の在中国日本国大使館にて日中友好成人式が開催されました。この成人式は北京の日本人留学生の発案で2011年より始まったもので、今年で7回目の開催となります。振り袖や袴、チャイナドレスに身を包んだ日中両国の新成人ら約200人が参加し、書き初めやエイサー、ソーラン節といったパフォーマンスなど学生自身で内容を企画し、学生らが一緒になって成人を祝い合いました。

今年は日中国交正常化45周年の節目の年にあたり、新成人となる学生からは、「われわれが架け橋となって両国関係を良くしていきたい」といった抱負が述べられました。



パリ事務所

パリで岩手県が「黄金の國いわて」フェアを開催中

2016年12月1日から2017年3月15日まで、岩手県がパリ市内のレストラン（メゾン・デュ・サケ）で「黄金の國いわて」フェアを開催しています。12月1日に開催されたオープニングイベントには、約110名の参加があり、地元県人会が作った芋の子汁や県産日本酒などが振る舞われました。期間中、同レストランにおいて、県産食材・日本酒の販売および伝統工芸品が展示されています。

また、1月16日には地元シェフ向けのイベント、同20日には旅行会社向けの説明会を行いました。これに合わせて岩手県からシェフや漆職人が来仏し、岩手田舎みそ、あま茶、塩麴などの県産品を使った料理を提供したほか、県産日本酒の試飲会や漆器の説明を行いました。



シドニー事務所

にぎわうクリア観光PRブース！ オーゾーら関心高く

2016年12月10日、シドニー・タンパロンパークで「Mutsuri Japan Festival 2016」が開催されました。これは多彩な舞台競演や各種体験コーナー、飲食屋台など、日本をまるごと体感できる夏祭りイベントです。シドニー事務所は、石川県、沖縄県、九州縦断観光ルート協議会と共同で出展し、全国の自治体パンフレットを配りながら観光情報を紹介しました。訪日旅行に関心の高いオーゾーらが多数訪れ、ブースは大いににぎわいをみせました。



ロンドン事務所

ギフトやクラフトの見本市 「Top Drawer」が開催

1月15日から17日にかけてロンドン市内で開催されたギフトやクラフトの見本市「Top Drawer」に日本から益子焼が出展しました。特殊な技法による細かな色合の製品に人気があり、来場者は熱心に商談を行っていました。栃木県益子町は、陶芸を通じて英国セント・アイブスと姉妹都市提携を結んでおり、今回は3年ぶり3回目の出展で、益子焼産地の担当者はさらなる知名度向上に意気込みを見せていました。





ソウル事務所

韓国ケーブルテレビが熊本県を訪問取材！

1月14日から17日まで、クリアソウルと韓国ケーブルテレビチャンネル「チャンネルJ」との連携により、熊本県内にて観光PR番組の収録を行いました。

今回の収録では、自然豊かな海に囲まれた天草地域と、くまBARやくまモンスクエアなど熊本県キャラクター「くまモン」をテーマとした関連施設を取材しました。

収録期間中は天候にも恵まれ、くまモンにもインタビューを行うなど、とても充実した撮影ができました。収録された番組は、3月までにチャンネルJにて複数回放映される予定です。

昨年4月の大震災以降、熊本県を訪れる韓国人宿泊客数は激減しており、この番組をきっかけに多くの韓国人観光客が熊本県を訪れることが期待されます。



シンガポール事務所

「JAPAN RAIL CAFÉ」で地域の魅力をPR

1月7日から27日にかけて、群馬県・長野県・新潟県はJR東日本がシンガポールで運営する「JAPAN RAIL CAFÉ」にて合同でPR活動を行いました。

このカフェでは自治体と連携して日本の各地域の魅力をPRしており、①地域の特産品を使用したメニューの造成（例：新潟産梨を使用したドリンク）、②新聞風のメニュー冊子に観光情報などを掲載、③カフェを利用したPRイベントの開催などを行うことができます。

特にPRイベントについては日本とのスカイプ中継映像の放映や、来場者参加型の体験イベントなどが注目を集めています。シンガポール事務所が活動支援を行った群馬県のイベントでは、みなかみ町からバンジージャンプのライブ中継を行うなど、「アウトドア・温泉・自然」の魅力を存分に伝えました。



多文化共生課

災害時多言語表示シート改訂します！

当協会では、平成18年度に整備した「災害時多言語表示シート」について改訂作業を行っています。これまでも平成23年の東日本大震災や昨年の熊本地震などで活用されてきましたが、発表から10年を経て、これまでの活用に関していただいたご意見を取り入れながら、検討会方式で改訂作業を進めています。見直しの中で特に重要視されているのが使いやすさの点です。「誰にとっても使いやすい」をコンセプトに、これまでCD-Rを用いていたシステムをWeb上からフル操作を可能にするなどの変更を行っております。また、近年全国的にニーズの高いネパール語やミャンマー語についても言語を追加します。公開は平成29年4月の予定です。災害発生時はもとより、平時からも外国人住民とともに実施する災害訓練などにご活用いただけることを期待いたします。



交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー (ソウル事務所管内) を実施しました！

韓国の自治体幹部5名を招き、1月16日から20日までの行程で、「京都府における少子化対策について」をテーマに京都府内の視察などを実施しました。本テーマは日韓両国が抱える共通の課題であり、参加者からは結婚・出産に対する祝賀の姿勢や、学生への正しい知識の啓発に関するものなど、韓国の制度や慣習と比較した質問・意見が活発に出されました。また、韓国のある自治体からは、妊産婦になると職場でリクライニング付きの椅子が提供されるというユニークな事例も紹介され、場が和む場面もありました。



JETプログラム事業部

平成28年度第2回AJET全国役員との 意見交換会が開催されました！

今年度2回目の現役JET参加者の代表団体「National AJET」、関係3省（総務省、外務省、文部科学省）、CLAIRとの意見交換会が平成28年12月16日に開催されました。今回はラグビーワールドカップ2019組織委員会をお招きし、JET参加者のラグビーワールドカップ2019へのボランティアとしての協力についてなど活発な意見が飛び交いました。そのほか、JETプログラム関係者にとって関心が高い課題について議論を重ねるなど、実りのある意見交換会となりました。

